

スリップローラーシーダーによる大麦播種技術

1 背景・目的

水田の効率的利用を進めるため、水稻・大麦・大豆の輪作体系が有効である。そのため、3品目共通の汎用播種機スリップローラーシーダーについて、特に大麦栽培の適切な播種方法が未知であるため、播種深度・播種量を明らかにする。

2 技術のポイント

- (1) スリップローラーシーダーを用いた播種方法は慣行のアップカットロータリーシーダーと同等以上の苗立率を確保できる(表、図)。
- (2) 土壌処理除草剤の薬害や倒伏のリスクが高くなることを考慮し、播種深度は3.0cm、目標苗立数を確保するには播種量8.5kg/10aとする。

表 苗立率

播種機	播種深度(cm)	播種量(kg/10a)	苗立数(本/m ²)	苗立率(%)
スリップローラー	3.0	8.7	159	67.5
	3.0	7.1	141	72.4
	1.5	8.7	162	68.7
	1.5	7.1	147	75.4
アップカット	3.0	6.2	108	64.2
目標			150~180	

※精子実重は水分12.5%換算値



スリップローラー



アップカット (慣行)

図 スリップローラーシーダーによる大麦播種の苗立生育
(慣行播種方法と同等の苗立生育が得られる。)

3 成果の活用と留意点

額縁明渠等の排水対策を実施し、適湿土壤にて播種を実施する。

問合せ先：作物栽培グループ TEL 076-257-6911

担当者：吉藤昭紀